

平成29年度 和光市立白子小学校 第5回学校運営協議会 議事録

平成29年11月17日（金）
午前10時00分～午前11時10分
和光市立白子小学校 PTA 会議室

出席者 鳥飼 昭男委員、富澤 昭憲委員、牧 江利子委員、榎本 克実委員、富澤 隆司委員
久保田砂苗委員、中村 哲委員、小澤紀代枝委員
西 貴美雄、坪谷 孝雄 （10名）

1 開会のことば（教頭 坪谷 孝雄）

2 学校長あいさつ（校長 西 貴美雄）

3 報告

- (1) 第2学期の学校運営状況について(学校 HP 案内、和光市地域子ども防犯ネット安全マップ紹介)
- (2) 全国及び県学力・学習状況調査検証結果保護者報告について
- (3) 道徳通信「みどりのそよ風」発行について

※ 質問

◇「Jアラート」を活用した訓練を行っているが、子ども達にはどのように話をしているのか。

⇒地震など大きな災害が発生する可能性のある時に発令される。避難の仕方を覚えようと話している。

◇通学時の時などはどう対応するのか。

⇒「Jアラート」に関しては指導を行っていないが、地震発生の場合は、「自宅に近ければ自宅に、学校に近ければ学校に」を原則としている。「子どもを守る家」などに助けを求めても良い。準じるよう指導していく。

4 協議（進行…会長）

(1) 協議題「学校地域との連携について」

校長より次のように説明し、委員よりご意見をいただく。

これまでの話し合いを通して、(1)子どもを守る安心安全の視点 (2)地域保護者の教育力の導入の視点 (3)地域行事への学校の関わり の3点が挙げられている。本日は、重点をきめてお話しいただいても、全体的なご意見をいただいてもよいかと思う。次年度計画作成の時期ともなっている。反映できるものは検討していきたい。

◇地域行事への学校の関わりについて述べる。来月10日（日）は白子小学校校庭で「餅つき大会」を実施する。この日には、市内で5会場ほど実施される。大和会も熊野神社で行う。白子小学校に通学しているエリアの自治会の催しである。子どもは比較的多く参加しているが、校長、教頭だけでなく都合がつけば先生の参加もお願いしたい。自治会には一年に5、6回の行事がある。地元の役員と顔見知りになる機会であり、私たちも親近感がわく。年間のスケジュールが出ているので検討してほしい。先生の多忙は理解しているが、地域と一体となって進めていかなければ地域とともにある学校づくりは難しいのではないかと。提案しておきたい。19日（日）には市内一斉でごみゼロ運動が計画さ

れている。年配の方が多く参加されているが、たまに子ども連れの方も参加している。学校では清掃活動に取り組んでいるので、保護者にも呼びかけて、参加を促してほしい。道徳性の涵養にもつながるだろう。学校からそれぞれのエリアに発信して行ってほしい。

- ◇毎年実施している「さくらまつり」には、先生たちも協力しているのではないか。
- ◇「さくらまつり」より「PTA バザー」が多いだろう。
- ◇「さくらまつり」は年度末に行っている。参加が難しいだろう。
- ◇先生たちも大きな行事には参加しているのではないだろうか。
- ◇学校での大きな行事には仕事にきたついでにも参加できるので、参加しているのだろう。学校外の地域の行事に1回、2回ぐらい参加してもらえるとよい。実現できるのかはわからないが検討してほしい。いきなりの案内では難しいだろうが、先生も計画的に参加を検討して行ってほしい。
- ◇先生は、地域の行事についてほとんど知らないのではないか。仕事が大変であるのは承知しているが、地域でどのようなことを行っているか知ることも重要だ。学校には、地域との窓口になるポジションをつくってもらえるとよい。教頭が中心となるのだろうが、地域の情報をまとめ上げて先生方に提供して行ってほしい。地域では、「餅つき」「ごみゼロ」だけでなく「まつり」や「防災・防犯」にも取り組んでいる。学校にはぜひ、窓口をつくってもらいたい。
- ◇各自治会の行事予定を年度当初学校に知らせておくこともよいだろう。
- ◇各自治会の行事予定をいきなり校長のところへ持っていくわけにはいかないだろう。窓口があるとよい。
- ◇教育委員会にもはたらきかけたい。学校運営協議会でこのような話が度々出されているのだから、検討の必要があるだろう。各自治会の予定ははっきりしているので、情報はすぐ伝えられる。自治連に連絡してもらっても、行事は把握できるだろう。
- ◇「バザー」のように大きな行事では、学年の先生にきていただけると子ども達も先生のところへ行って話もできる。しかし、地域に先生が出かけて行ったときにはその学年の子どもにはよいのかもしれないが、他の学年やその先生と話したこともない子どもには近くに行きづらいのではないか。子どもに声をかけにくい、あの学年の先生は来ている等の気持ちを生まれさせるのは逆効果ともいえるのではないか。先生が行くことには反対するものではないが…。
- ◇学校区には地域がいくつかある。地域を担当とする先生を決めておいてもらおうとよいのではないか。白子小学校に勤める先生なのだから、地域を知ることは重要だろう。担当は毎年変わってもよいが、学校として仕組みを整えて行ってほしい。「餅つき」「おまつり」などの行事では、スポーツをしている子どもが多いと参加が難しい傾向がある。現在、本自治会には子どもは10人ぐらいしかいない。「餅つき」にしても大人に手伝ってもらわなければ成り立たない。先生に手伝ってもらえればありがたい。学校の先生が忙しい時期でもあることはわかるが、少しでも参加してもらえればどの地域でも嬉しいだろう。校長からも職員に呼びかけてほしい。積極的に参加する職員もいるかもしれない。
- ◇現在、学校と地域が分かれてしまっているような感じも受ける。学校のことは配信されて結構わかってきている。自治会が何をしているのかは学校にも情報がきていないだろう。「餅つき」「ごみゼロ」「おまつり」等1年間の計画カレンダーのようなものをつくって、学校との情報共有を図るとよいだろう。12月10日には四晴会と大和会で「餅つき」がある。このような情報があると学校にも来てもらえるのではないか。
- ◇4月に〇、5月に〇、…。ぱっと見ただけで一年間の予定がわかれば学校も予定も立てやすいのではないか。

- ◇地域には毎年、定例のものもあれば日程が多少動く行事もある。どの行事だったら先生も出てこられるのか把握することもできるだろう。互いの自治会の調整も必要となってくるだろう。学校にもわかるような年間の予定作成を進めていくのがよいのではないか。
- ◇次年度の計画をつくっていくとよい。
- ◇各地域の行事に先生が来てくれることは子ども達にとっても嬉しいだろう。しかし、先生にそこまで要求することは気の毒にも思う。実際に先生が参加できなくても、子ども達が地域でそのように育っているのかを知ること、情報を共有することは大切だろう。一覧にして、子ども達がどのような行事を経験しているのかを共有していくことがよい。先生と地域の行事の関係については、大きな行事に参加することを中心として考えるとよい。
- ◇地元にいる先生でも地域行事参加は難しいと聞く。行事に参加する先生はきまっているように感じる。一番に思うことは親子で参加してもらうことだ。
- ◇先生に参加を求める前に、まず保護者が地域の行事にどこまで参加しているのか、子ども達はどこまで参加しているのかを考えることが大事なのではないか。
- ◇学校公開日には親子であれだけの人が参加していた。地域にもぜひ出てきていただきたい。
- ◇学校と地域が情報を共有することは大切だ。その情報を今後どのように活用していくのかとういうことは引き続き検討していきたい。

(2) 教職員の任用について

校長より県及び市の人事異動方針について説明し、委員よりご意見をいただく。

学校の職員数、服務監督権者、校長の人事権等について質問があり、回答した。教職員の任用について特に意見はなかった。教職員の任用について、学校運営協議会委員から意見を述べることは難しいという感想が出された。

5 連絡

- (1) 道徳研究発表会 平成30年1月19日(金)
- (2) 第6回学校運営協議会(兼:学校関係者評価委員会) 平成30年1月16日(月)

6 その他

- ◇和光市では公園計画がある。計画するにあたって、意見を市民から募集しているが、利用する子どもから意見を聞くことが大切だろう。このような機会も必要だろう。
- ◇以前、子ども対象にワークショップを行ったこともある。最近では、行っていないようだ。6年ほど前には行っていた。
- ◇和光市でも公園が次々とできている。公園計画は子どもから意見を聞くことが必要だと思う。子どもの発想はすばらしい。学校からも教育委員会にはたらきかけてほしい。

7 閉会のあいさつ(久保田副会長)